

日赤ニュース

No. 52
2014年

発行日：平成26年2月
発行責任者：河井繁
編集・発行：伊勢赤十字病院 広報委員会
伊勢市船江1丁目471番2
☎ 0596-28-2171(代表)
<http://www.ise.jrc.or.jp>

理念

人道に基づき赤十字病院として
質の高い医療を提供します

基本方針

1. 人道を掲げる赤十字の原則に基づき、人々の健康と生命の尊厳を守ります
2. 人権を尊重します
3. 個人情報保護に万全を尽くします
4. 医療水準の向上に努め、最善の医療を提供します
5. 地域医療機関との連携により、個人に合った適切な医療を提供します
6. 救急医療の充実に努めます
7. 災害時の医療救護や国際救援に貢献します
8. 健全な運営に努め、末永く地域社会に貢献します



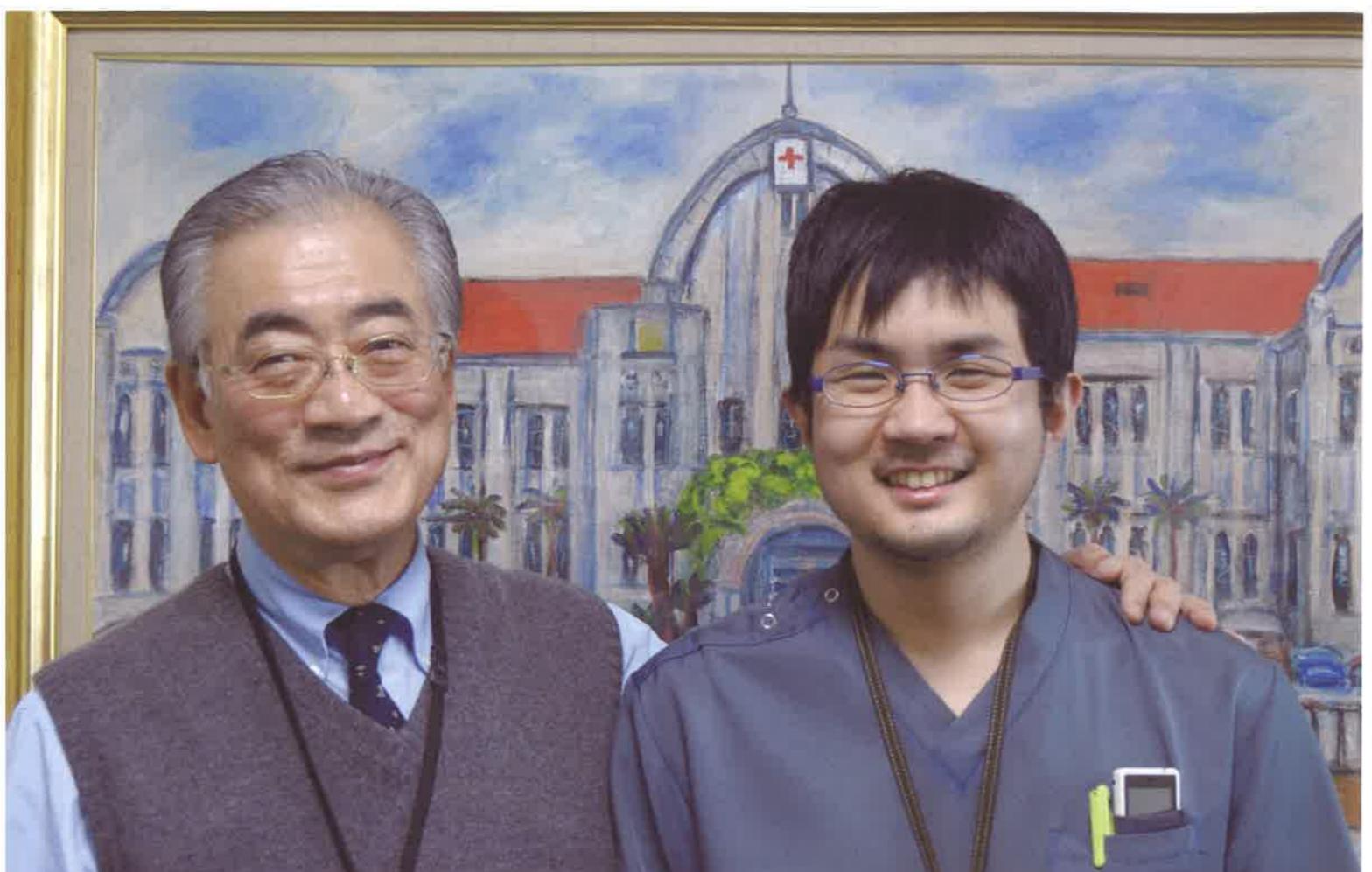
平成26年 午年の皆さん

Contents

- トピックス 新春 院長インタビュー
部門紹介 4B 病棟
病院の動き 緩和ケア病棟でクリスマス会
地域の医療機関の放射線安全管理を支援
伊勢赤十字病院創立 110周年
地域ともっとクロス 伊勢日赤病院まつり「ゆずりは祭」
お知らせ インフルエンザ予防・伊勢赤十字病院就職説明会
糖尿病 肝臓病教室 「耳の日」講演会



村林院長

広報委員
研修医 松島由明

もっと知りたい！院長のこと。

—研修医が院長インタビュー—

■昨年はどんな年でしたか？

とても暑い年でしたね。秋になんでも真夏日で。暑さと遷宮行事の影響で、救急搬送が普段は月に700台くらいのところ、お白石持ち行事の時期には900台以上になりました。

外宮の遷宮には、当院の代表として立ち会う機会を頂き、たいへん光栄でした。

当院の建築については今注目されており、建築学会で話す機会も頂きました。医学関連以外の学会に参加したのは初めてでしたがいい経験になりました。また、病院見学も一昨年より増加し、多くの方に伊勢日赤を知っていただくことができた年でした。

■今年の抱負をお願いします

平成26年4月には診療報酬改訂があります。当院の経営への影響がどうなるか気になるところです。数値目標としては新入院患者数18,000人/年、外来患者数900人/日以下を目指してがんばっていきたいです。ちなみに、今年の新入院は17,000人でした。入院が必要な患者さんを断らない、当院で診なければならぬ患者さんをしっかり診ていくということを実現したいです。



院長のオススメ(^_^)

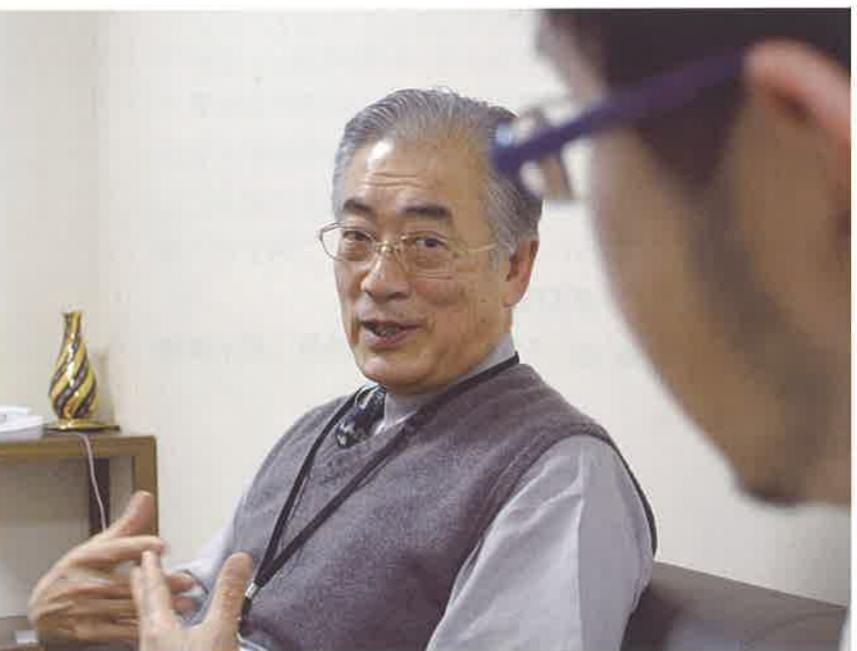
そばが好きなんですよ。内宮前の「才屋」、ベリーみその店裏の「鈴耶」、やすらぎ公園近くの「みなせ」などがしばしば行くお店ですね。居酒屋では、古市街道の「ばらやん」なんかに行くことがあります。どこもおいしいですよ。

■これからの伊勢志摩地域の医療について

現在は人口減少の一方、有病率は上昇している時期ですが、2025年頃には団塊の世代が後期高齢者になり、有病者も減少に転じると予測されています。これに対応していくかなくてはなりません。この地域に生まれてよかったと思ってもらえる医療を提供したいと思いますが、これは当院だけががんばっても不可能です。地域全体が一つの病院として地域完結できる医療、すなわち地域病院構想を実現していくかなければなりません。

現在、当院から地域の医院に対して薬剤師や栄養士の出張を行っていますが、大変好評との声を聞いています。これをさらに進めて、医師や看護師まで含めての人事交流を図っていきたいですね。

また、この地域では救急搬送受け入れの電話照会が平均2回以下と、全国でもトップクラスです。これは今後も維持していきたいですね。



■どうして医師になろうと思ったのですか？

祖母が糖尿病で、昭和20年代からインスリン自己注射をしていました。当時は使い捨ての注射器なんかないで、普通の注射器を煮沸消毒して使用していました。そんな環境もあって、子供の頃から「医師になれ、なれ」といわれていました。物心ついたときからそうだったので、医師しか仕事はないんだとすり込まれてしまっていました。

そんな調子で、気がつけば医師になっていましたね。

■描いていた医師像と比べてどうですか？

大学4年生頃から外科医になろうと考えました。6年生の夏に外科実習で最終的に外科医になることを決めました。手術のしっかりできる外科医になることが理想でした。今のように病院経営に携わることは全く考えておりませんでした。手術ができなくなったら医師を辞めようと考えていましたね。

しかし、ひょんなことからこのような立場に就かせて頂きました。やってみると病院経営もおもしろいものです。

そのときそのとき自分の仕事をやりきることが大切だと思いますね。



院長の休日(^o^)

朝は歩いて病院に来てベッド状況の確認をします。ほかに原稿書きの仕事をしたり、何事もなければそのまま歩いて帰宅します。家から病院までは歩いて片道1時間くらいです。自宅では読書をしたり、昼寝をしたりしています。運動はウォーキングくらいですね。



4B 病棟

主な科：外科・皮膚科・形成外科
病床数：69床（リカバリー8床含む）
スタッフ数：看護師42名、看護助手4名（H26.2.1現在）

病棟スローガン

笑顔を大切に…仲間を大切に…患者さん・ご家族を大切に…

チームが一つとなり、思いやりのある看護を実践します

4B病棟では、患者さん・ご家族が安心・安全に過ごしていただけるように日々の看護を行っています。チームワークがよく、互いに助け合い、若いスタッフが中心となり頑張っています。毎日回復され元気になられる患者さんの姿（笑顔）に私たちスタッフも励されます。また、治療のため入退院を繰り返される患者さんもみえますが、少しでも安心して入院生活を過ごしていただけるように心掛けています。なんといっても、スタッフ同士が大変仲良く、楽しい職場ということが私たちの自慢です。

4B病棟 看護師長 荒木尚美



今年度入った新人ナースです
よろしくお願いします



A
チーム

順調な回復に向けて

手術後の患者さんが、順調に回復していただけるよう、力を合わせて看護を行っています。4B病棟のスタッフ全員がリカバリーで勤務できるよう、スタッフ育成にも力を入れています。

B
チーム

ベテランと若者奮闘中♥

外科・皮膚科・形成外科の手術後の患者さんのケアと共に、長期入院の患者さんが、自分らしく入院生活を過ごして頂けるようにと心掛けています。

C
チーム

入院前の生活レベルを目指して

医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）と情報を共有し、患者さん・ご家族の意向を取り入れながら、退院支援に取り組んでいます。入院前の生活レベルに近づけるよう退院に向けて皆さん関わっています。

緩和ケア病棟を取材！



ご家族とこころ和む時間を。

-緩和ケア病棟でクリスマス会を開催-

インタビュア広報委員：
臨床工学技士 岡田華奈

癒しの音楽で・・・

12月11日に開催された緩和ケア病棟のクリスマス会のメインイベントは、音楽ボランティアさんによる二胡、ギター、エレクトーンのコンサートです。

きよしこの夜、ジングルベルなどのクリスマソングのほか、リクエストで川の流れのように、愛燐々などの演歌をみんなと一緒に歌いました。鈴、タンバリンなどの演奏も加えて、笑顔いっぱい素敵なコンサートとなりました♪

病室にも「メリークリスマス！」

クリスマス会終了後は、サンタさんから各病室へクリスマスプレゼントです。スタッフからのメッセージ入りの手作りクリスマスカードや病院ボランティアさんお手製のティッシュケース、タオルで作ったぬいぐるみ、もりだくさんのプレゼントに患者さんも満面の笑みで大変よろこんでいただきました！



トントン。サンタのサプライズ訪問に思わずにっこり♥



「ご家族と患者さんの笑顔を大切にしたい」

緩和ケア病棟では、春はお花見、夏は夏祭り、秋は紅葉狩り、1年中季節の催しを開催しています。ときには誕生会や結婚式も特別に開き、「おうちに近い生活を。家族とこころ和む時間を。」をモットーに楽しいひと時をいつしょにつくっています。そう話す師長さんは終始笑顔でした。「ご家族と患者さんの笑顔を大切にしたい」の言葉どおり、緩和ケア病棟は今日も笑顔が絶えません。



当日、楽しみにしているのは患者さんだけではありません。スタッフも朝からサンタの帽子をかぶり張り切っていました（笑）

診療放射線技師が地域の医療機関の放射線安全管理を支援

-伊勢地区における放射線安全管理ネットワークの構築に向けて-

放射線技術課

福島第1原発事故、日本原子力研究開発機構実験施設の放射能漏れ事故等を受け、国民の放射能・放射線に対する関心が高まっています。

そこで、身近な放射線である医療用放射線について、当院診療放射線技師が地域の医療機関にお伺いし、放射線安全管理のお手伝いをさせていただいております。

地域の医療機関全体の放射線を用いた診療の信頼性向上をはかり、地域のみなさまがより安全で安心な医療を受けていただくことができるよう放射線安全管理ネットワークづくりに取り組んでいきたいと考えています。



放射線測定



測定結果説明

伊勢赤十字病院は平成26年2月1日で創立110周年を迎えました!!

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 明治37年 2月 日本赤十字社三重支部山田病院設立 | 平成 9年 1月 災害拠点病院指定 |
| 明治41年 8月 ロベルト・コッホ来院 | 平成12年 3月 老人保健施設「虹の苑」を開設 |
| 大正 3年 7月 第一次世界大戦英國へ救看護婦派遣 | 平成12年 8月 病院機能評価認定取得 |
| 大正15年 6月 度会郡御園村高向810番地に新築 | 平成14年 8月 地域がん診療拠点病院指定 |
| 昭和18年 1月 山田赤十字病院と改称 | 平成16年 3月 地域医療支援病院指定 |
| 昭和26年 8月 公的医療機関に指定される | 平成16年 7月 へき地医療拠点病院指定 |
| 昭和30年 3月 総合病院に承認される | 平成18年 4月 研修センター設置 |
| 昭和42年 3月 救急告示医療機関の指定を受ける | 平成19年 4月 院内保育所設置 |
| 昭和43年 7月 臨床研修病院の指定を受ける | 平成19年 11月 卒後臨床研修機能評価認定 |
| 昭和56年 11月 訪問看護事業開始 | 平成21年 10月 新病院起工式 |
| 昭和60年 4月 救命救急センター、健診センター設置 | 平成24年 1月 新病院開院 伊勢赤十字病院と改称 |
| 平成 8年 2月 エイズ拠点病院指定 | |

伊勢日赤病院まつり 「ゆずりは祭」開催

12月7日（土）、伊勢赤十字病院（旧：山田赤十字病院）創設以来、初めての病院まつりを開催しました。伊勢赤十字病院が、伊勢の地で100年以上続いてきたのは地域の人々の支えがあってこそ、という思いから、病院まつりのテーマは感謝をこめた「地域愛－地域を愛し、地域とともに－」。病院まつり開催にあたり、職員はもちろんのこと、支部奉仕団のみなさまや地域の方々、医学生さんなどたくさんの方々にご協力いただき、約2,000名の方に来院していただきました。

やまだホールでは観光戦隊イセシマン、地元大学プラスバンド、地元ミュージシャンにご協力いただき、楽しい音楽やショーが披露されました。また、院内保育所園児によるかわいい歌と踊りに会場は癒され、院内からも音楽演奏やダンスショーの出演があり、職員の多才さに拍手がわき起きました。



観光戦隊イセシマンが病院まつりを応援



かわいい歌と踊りで会場が和みます

ISE（アイエスイー）－ドクター'sと 学ぼう！『心肺蘇生とAED体験』



くまもんは息してるかな？「くまも～ん」

ドクターへリ見学



ドクターへリの見学は、整理券が午前中でなくなるほどの大盛況。

サンタさんからのプレゼント

エントランスには、サンタとトナカイが現れ、子どもたちに栄養課手作りのクッキー（砂糖不使用）と夢をプレゼント。入院中の子どもたちの病室にも届けました。



出店コーナー

病院玄関前には、杵と臼を使っての餅つき、唐揚げやみたらし、炊き出し、バザーなど、様々な出店が訪れた方々を楽しませてくれました。今回の病院祭りでの募金やバザーの売り上げは、NHK海外助け合い募金に寄付されました。

ご協力ありがとうございました。



突然現れたサンタ◎
クッキーと夢を子どもたちに届けました



「おいしいみたらし、焼けました～」

医療展コーナー

医療展では薬剤師お仕事体験X線写真のクイズ、最新放射線機器画像、静脈可視化体験、災害救護、ボランティアによる点字などの体験。子どもも楽しめる「キッズコーナー」も。



「ゆずりは祭」名称の由来

病院玄関には、ゆずりはの鉢植が並んでいます。「ゆずりは」という植物は、春先に若葉が出たあと、前年の葉が落葉します。そのようすを親が子を育てて家が代々続していくように見立てて縁起物とされています。「ゆずりは」の植栽には、伊勢赤十字病院の伝統と発展を願った院長の熱い思いが込められています。「ゆずりは祭」はそんな思いを込めて名付けられました。

伊勢赤十字病院での、初めての病院まつりは「お・か・げ・さ・ま」で無事終了しました。これからも、地域への感謝を忘れずに日々の診療に努めてまいります。



インフルエンザとは？

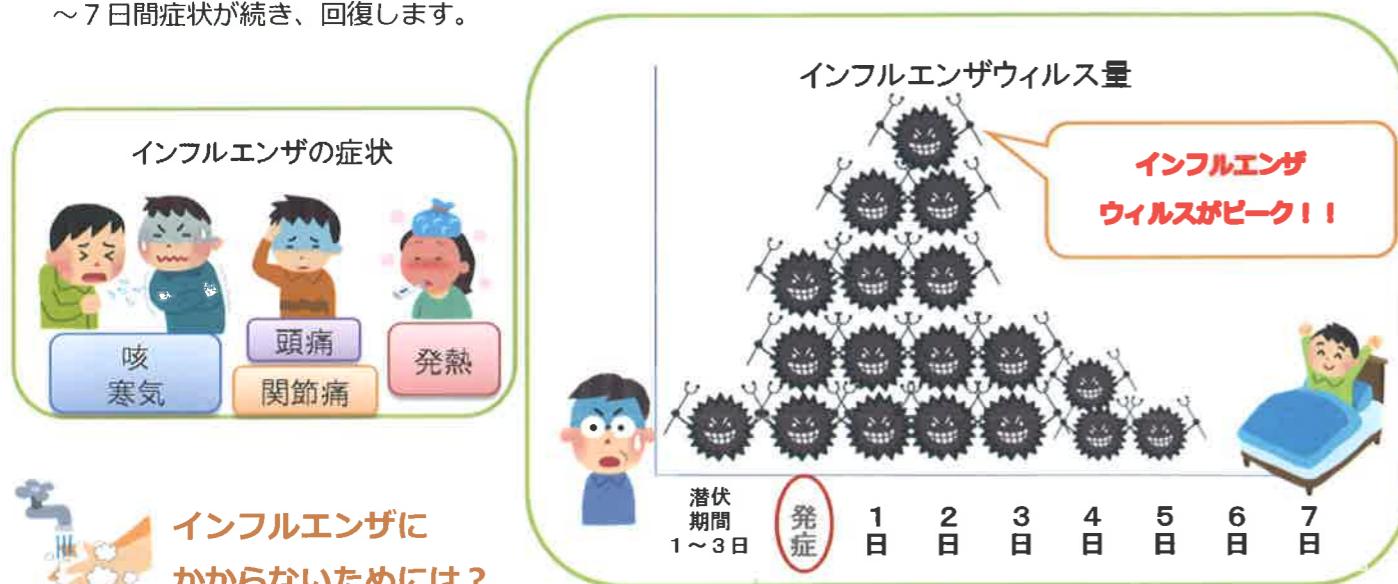
インフルエンザは、毎年12月～3月にかけて流行する、インフルエンザウィルスが原因の感染症です。気温20度、湿度20%前後の乾燥した空気の中で活発に活動し、インフルエンザに感染した人が、くしゃみや咳することにより、口や鼻から気管へと入りこみ感染します。

インフルエンザの症状

人によって症状は異なりますが、強い寒気と頭痛、38～40度の高熱が出ます。また、通常の風邪とは異なり、関節痛や筋肉痛、倦怠感が強く出るのが特徴です。

インフルエンザの経過

潜伏期間は1～3日間と短く、発症後24～48時間でインフルエンザウィルス排出のピークとなります。約5～7日間症状が続き、回復します。



- ① 流水と石鹼による手洗いとうがい、アルコール製剤を使用した手指消毒薬も効果があります。
- ② 鼻水や咳がある場合は、マスクを着用し、鼻をかんだ後はしっかりと手を洗いましょう。(咳工チケット)
- ③ 普段からバランスの良い食事を心がけ、体力をつけておきましょう。
- ④ 十分な睡眠と室内の湿度を60%前後に保つと良いでしょう。
- ⑤ 流行期には、人ごみは避けるようにしましょう。たくさんの人が集まる機会には、マスクを着用しましょう。
- ⑥ 予防接種は、インフルエンザの重症化を予防します。接種から約5ヶ月間効果がありますので、毎年12月頃までに接種しましょう。



マスクは正しく着用しましょう！

- ① ノーズワイヤー（鼻の部分のワイヤー）を上にします。
- ② ブリーツの向きを確認し、上のブリーツが下のブリーツを覆うような向きで装着します。
- ③ 鼻と頬が十分に覆えるまで、ブリーツを広げます。
- ④ ノーズワイヤーを鼻の形に沿うよう曲げます。

伊勢赤十字病院 就職説明会

【日時】

平成26年3月21日(金・祝) 13:00～16:00

平成26年3月27日(木) 13:00～16:00

※申し込み締め切り：3月3日

【対象】

看護学生(学年は問いません)

【場所】

伊勢赤十字病院 会議室7他

【スケジュール】

新人・2年目看護師によるプレゼンテーション、
病院案内・説明の後、交流会を予定しています。



オプション ミニインターンシップについて

午前にはミニインターンシップがあります。

9:00～12:00

ご希望の部署の見学、体験ができます。

詳しくはお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

伊勢赤十字病院 研修センター

TEL: 0596-65-5011

FAX: 0596-65-5302

E-mail: kenshu@ise.jrc.or.jp

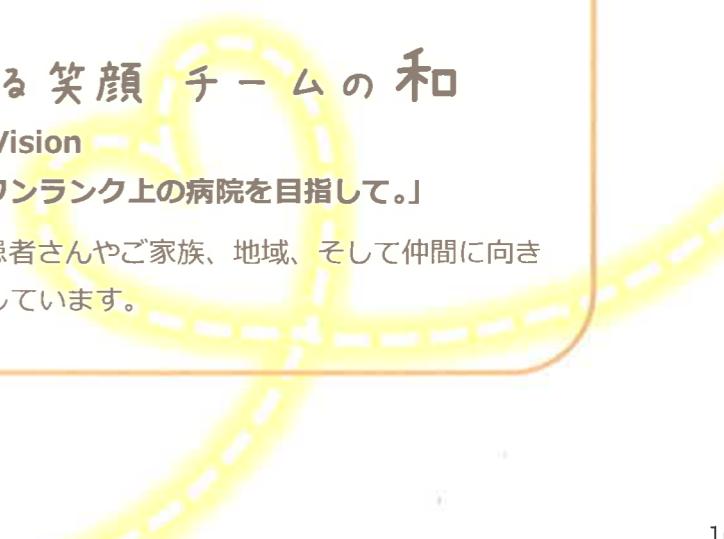
あいさつ励行月間

あいさつで ひろがる笑顔 チームの和

Our Vision

「地域愛に満ちたひとづくり。ワンランク上の病院を目指して。」

Vision の達成のために、真摯な気持ちで患者さんやご家族、地域、そして仲間に向こうこととして、「あいさつ運動」を実施しています。



お知らせ



教室のご案内

平成 24 年度より教室を受けられた場合、健康保険適用となりますので初・再診料・集団指導料の一部負担金をお支払いいただくことになります。ご了承くださいますようお願いいたします（試食のある場合は別途材料費をいただきます）。

- 教室参加の流れ ①外来または入院病棟で予約を入れてください。
②参加当日は直接、教室会場に入ってください。
③診察券を教室の受付に渡してください。
④教室終了後、自動支払機にて清算をしてください。

糖尿病教室

【開催日時】

平成 26 年 3 月 14 日 (金) 9:00~13:00

【場所】

伊勢赤十字病院 5 階 会議室 7

【参加費】

500 円 (昼食あり)

【お問い合わせ・お申し込み】

伊勢赤十字病院 糖尿病代謝内科

外来 3 番受付

肝臓病教室

【開催日時】

平成 26 年 5 月 19 日 (月) 13:30~15:30

【場所】

伊勢赤十字病院 5 階 会議室 7

【お問い合わせ・お申し込み】

伊勢赤十字病院 肝臓内科

外来 3 番受付

[5 階 会議室 7 へのご案内]



ブルーのエレベーターにて 5 階へお上がり下さい。

5 階受付にて会議室 7 をご案内します。



第 59 回「耳の日」三重県講演会と医療無料相談 ご案内

日時 平成 26 年 3 月 2 日 (日) 11:00~13:00

第 1 部 市民公開講座 11:00~12:00

「みみの聴こえで困っていませんか？」

伊勢赤十字病院 頭頸部・耳鼻咽喉科 部長 山田弘之 先生

第 2 部 無料医療相談 12:00~13:00

簡易聴力検査、耳鼻咽喉科医による耳と聴力・補聴器の相談

場所 伊勢赤十字病院 1F やまだホール

伊勢市船江 1 丁目 471 番 2 電話 0596-28-2171

お問い合わせ：外来 2 番 (耳鼻咽喉科)

主催／(社)日本耳鼻咽喉科学会三重県地方部会 共催／伊勢地区医師会 後援／三重県医師会